

すみだタウンミーティング 議事録

テーマ	みんなでつくろう！すみだの未来 第2回「すみだらしい『つながり』」
日時	令和3年10月9日（土）午前10時15分～正午
会場	すみだリバーサイドホール2階イベントホール／オンライン（Zoom）
参加者	45名（会場：23名、オンライン：22名）

＜メインディスカッション＞

【1】「つながり」における課題

司会 メインディスカッションのテーマは二つ。つながりにおける課題と、つながる力ですみだの良さを高めるためにという二つのテーマでディスカッションをしていく。まずは一つの「つながり」における課題については、どうやってつながったらいいいのかわからないということと、もう一つは、今まであったつながりが薄れてしまうことが問題じゃないかということがあると思う。そこで、皆さんが考える、つながりにおける課題を教えてください。

区民A 墨田区に住んで73年になる。つながるってことは、割合簡単にできる。町会自治会に参加してほしい。そうすると、いろんな活動がある。今墨田区が力を入れている防災、コミュニティ、見守り、学童関係、小学校中学校といろいろある。自分のやりたいことを一つ選んで、それに参加してほしい。自分が興味を持っていることなので、楽しくできる。ただそれだけでいいと思う。つながって、世の中を変えていける。

区民B 私は今の墨田区に引っ越してきた時、町会に入ろうか入らないか考えていた。町会があるというのは何となく知っていて、ホームページで検索すれば自分がどこの町会かわかった。そこに記載されているサイトに、どのような運営をして、会費はいくらなのか等を問い合わせたが、全く返事がない。最近はオートロックの共同住宅が多いので、町会の方が回って来ているのかどうかは知らないが、関わることはほぼないと思う。こちらは積極的に参加しようと思ったのに、そのような状態で。これは私の推察だが、昔ながらの掲示板があって、そこにビラが1枚か2枚か貼ってあって、さらには回覧板を回しているところも多いような気がするが、この10年ぐらいに越してきた人や、SNS、インターネット上でつながっている人たちに、昔ながらのやり方をされては、つながらないと思う。墨田区は町会の加入率を高めることを目標にしているが、どのような状況になっているか把握しているのか。積極的に参加したい人がいるということを伝えたい。

区民C 2歳の娘を持つ母親として言わせていただきたい。墨田区でのいい意味でのおせっかいというのは重々承知しているし、子どもがいるから声をかけてもらえるのはすごくありがたいが、顔を知っているからといって、ちょっと踏み込み過ぎるような話をされる。それは年上の方に多く見られる気がする。その方に対して自分たち若い世代もどう返してい

いかわからず、余計に、縦とも上の世代の人とも、つながり方がわからなくなってしまう、距離が、壁ができていく気がする。今までのすみだのつながりというのは、横だけではなく、縦もすごくあると思うので、お互い歩み寄りたし、助けてもらいたい。親の世代、おじいちゃんおばあちゃんをつなげるためにも、こちらも踏み込みたいところがあるので、子ども食堂のような、上の世代と関われる場があればいいと思う。

区民D すみだ歴は50年以上になる。地域コミュニティ活動について話をしたい。私がいる町内の人口は、もうすぐ4,000人になろうとしている。これはバブル期の1.5倍という状況で、世帯人口は1.7人、これは戦後の3分の1以下という状況。高齢者比率が17%で、区内で最も少ない地域になっている。年少人口は9%、これも少なく、そうすると生産人口ばかりが増えているといえる。この背景にはワンルームマンションが増えていることが考えられる。単身世帯の増加が町会加入にブレーキをかけているのではないかと、この問題については区でも、町会・自治会振興特別委員会で議論されており、問題提起はされているが、解決に向けたアクションはこれからということ。積算では、ワンルームマンション住人の中でも、先日の地震のような災害の時などには、町会に加入した方がいいと思っている人も多いと考えている。

きっかけがないということについては、SDGsを活用した町内コミュニケーションを提案したい。先日、町内でSDGs委員会を立ち上げた。これによって新たな役員も増えてきた。先ほど区長からもあったように、すみだの街は江戸時代から続くエコがある。すでに町内では資源回収や、防災防火のまちづくりなどが行われており、これが自然にSDGsに結びついていると考えている。墨田区では、SDGs未来都市、並びに自治体SDGsモデル事業に選出されて、SDGsでは先進的な街というイメージがあると思う。ノウハウもかなりあるのではないかと。そのノウハウを生かして、町内のコミュニティ活動に結びつけてほしい。

山本区長は、コロナ禍において、強力なリーダーシップを発揮され、日本の中で最も対応力のある自治体ということで名を挙げた。そのリーダーシップを生かして、地域コミュニティでも、ぜひ町内のSDGs委員会にアドバイスをもらいたい。

区長 最初は、町会にぜひ加入して、町会の人との触れ合いの中で、ご自分の町内において、また日々の生活を充実させるような、そんなものを発見してほしいというご意見。

そして次の場合は、こちらは興味があって、入ってもいいなと思うけれども、なかなかそこが通じ合えなかった、つながらなかったということ。それから、そもそも、町会活動が、または町会加入率が、そのぐらいの目標なのかと、どういうふうに考えた方がいいのかというような、再度問題提起をいただいたと思っている。私自身の考え方としては、墨田区には170ぐらい町会自治会があるが、区がいったん27万6,000人に、こんなことをやりますと言っても、なかなか参加してもらうことができなかつたり、我々の思いが届かなかつたりする。そのような中で、一旦その170の町会自治会の皆さんにお願いをすることによって、スムーズに進むことがたくさんある。それから、非常にうまく、

町内ごとにいろんな形で区の思いを形にさせていただける。そして、その町内には事業者や各団体の皆さんがいたり、お医者さんや飲食店の方もいたり、様々な人やものが含まれているという意味でも、やはり町会の重要性がある。3番目の方のお話とも通じるところがあると思うが、要は、いかにそのバランスがとれた関係性でものが運んでいくのかということが大事で、踏み込み過ぎも大事であったり、逆に、そこは少し距離を置いた上で、うまい関係を、バランスを取っていくということも大事だと改めて感じた。だからこれは、町会にもいえること。

最後、町会SDGsとしての考え方というのは、すでにご自分の町内の分析をされて、こんな町会にしていきたい、その集合体が、墨田区であるということ、今改めて感じたところである。やはりそれぞれの町会の特徴、それから特性、こういうものを、町会長さん自治会長さんを中心にうまくPRしてもらいながら、最終的にはより良い関係性の中で運営をしてもらうことが、墨田区全体にとっても、とても良い方向につながっていくのではないと思う。昔ながらの街であることから、最初のとっつきにくさや入りにくさもある気がするので、そういったことも課題であると思った。

区民B 墨田区はYouTubeなどのSNSを配信していて非常にいいと思うが、興味がある人はSNSを見れば、別に町会でまとまらなくても情報を取れる状況で、今はそういう時代かなという気がする。人のつながりも、墨田区に限らないかもしれないが、同じような使命を持ったり、地域活性化したい人は、もう立ち上げてやっている。町会の方も一生懸命やっているのだと思うが、そのような中で、町会の加入率を上げたいという目標はどうなのかというくらい、世の中は変わっているのではないかというのが私の考え。

区民E 昨年墨田区で起業した。コミュニティの話が続いたので、会社を立ち上げる時の墨田区の課題を挙げさせてもらいたい。墨田区はものづくりで有名な街だと思っており、その中で私はITで会社を立ち上げたが、墨田区でITの会社を起業しようとする、他の区と比べて支援が少ないと思う。例えば、ものづくりの会社に対する支援の施設等はたくさんあるが、ITとなるとなかなか入りづらく、ITの会社だから入れるというようなことがない。ものづくりの会社でないと支援を受けられにくいところがある。そのため、ものづくり以外の会社でも、墨田区で起業しやすい環境をつくるということは、ものづくり以外の幅を広げていくという意味では、大切なのではないかと思う。

あと一つ、別件になるが、つながりの課題について。先ほど5人の方が1分間PRタイムで発表されたが、皆様がそれぞれ告知できるような場所が、インターネット上にはないと思った。墨田区でいろいろといい活動をしている方が発信できるような、区として公認のサイトみたいなものがあつたらいいと思う。

区民F 私は仕事柄、高齢者や障害者の方と接している。健常者、元気のある方は、自らいろいろなつながりに行くことができるが、こういった方はできない。一人暮らしの高齢者の方等が、経済的に自由なお金があるかという、そうではないケースが多い。そのため、

このような弱者と言うと語弊があるが、このところをどう対応していくかということが非常に大切だと思う。政治や区が関わっていく。私どもはそうしたコミュニティを作成する。SNSと言ってもなかなか厳しいので、パソコンやスマートフォンであったり、無料での教室を開催するのであったり、あとは、民間においては、ボランティアになるのかなと思う。ただボランティアといっても、こういったコロナ禍であり、経済が低迷しているので、やはり金銭的な余裕も時間もあって、志のある方、こういった民間の方と行政がタイアップしていくことが非常に大切なのではないかと考えている。

また、地震があった時に、一人暮らしの高齢者の方に電話で安否確認をしたりしているが、このようなことに取り組んでいくことが非常に大切であると感じた。

区民G すみだ歴5年で、自分のマンションで理事長をやっており、町会にも所属している。その中で感じている、つながりに関することについて。基本的には町会に関しても、やはり構成されているメンバーは高齢の方、時間がある方が多いので、本当に町会という組織の存在意義があるかどうかを考えている。それと同時に、構成について、もっと若い世代を取り込むように変えていく仕組みを考えてもいいと思った。また、区全体としても、タウンミーティングに来られた方、積極的な人たちの意見を取り込めるとは思うが、関心が薄い方にも興味を持ってもらえるような取組みも必要じゃないかと感じた。

区長 区長としてお伺いすると、ああ、そうだな、そういう観点だなと思うご意見が大変多く、参考になると改めて思う。やはり今、つながりたくてもなかなかつながれない方や、SNSを使えない方、一人暮らしの高齢者の方などに、区としてどう対応するのか、また、仲間づくりをするにはどうしたらいいかという大事なご指摘であった。今やっているのは居場所づくりなどだが、そのような機会をつくっていくことは、これからもしっかりやる。言い訳がましいが、コロナによってこの1年8ヶ月、なかなか身動きが取れなかったところがある。ポストコロナで、いかに、今言われたことを形にしていくか、ぜひ皆さんと一緒に考えていきたい。

それから、集合マンションの理事長さんとのことで、高齢者中堅世代、子どもたち、いろいろな方がお住まいのマンションであり、そしてそのマンションの自治会を構成していく中で、やり方や、どんなふう構成をして、どんなふう動かしていくのかということは、難しい課題である。そして区からいろいろなことが下りてきて、それをまた全世帯の方にお伝えいただいている。それぞれ、先ほど言った町会の特徴の中でやってもらっているが、やはり我々区役所として、各町会自治会の苦労などを、もう少し丁寧に解消していく努力が絶対に必要だと感じた。何よりも、区民の方に関心を持ってもらう接点となるものを、情報提供し、しっかり広報していくことがとても大事だと思う。

歴史としてのものづくり企業が、墨田区、先ほどあったSDGsも、生活用品や日用品を今まで作ってきて、それが区民生活に生きてきた。だから、墨田区の今までの歴史＝SDGsといえることもあるが、それはそれで高めていく。モデル事業も、これから新たなものづくりを通して、健康、教育、社会生活などにちゃんと寄与できるものをつくっていく

ことが、ものづくりによるSDGs 墨田区版ということになる。そこを支えるIT、ICT技術についても、今後の社会において大変重要なテーマであり、区にとってつなぐツールでもあると思うので、起業を含めて力を入れていきたい。

特に町会自治会に関しては、ご意見、大変参考にさせていただく。今日は部長と課長も座っているので、一緒になって考えさせてもらいたい。

【2】「つながる力」ですみだの良さを高めるために

司会 次は、「つながる力」ですみだの良さを高めるためにというテーマで、皆さんと話を進めていきたい。それぞれ皆さんには、様々な課題を出していただいた。いろいろな課題がある中で、このすみだらしいつながりを守り、高めていくためにはどうしたらいいのか。何かヒントになるようなことがあればぜひ教えていただきたい。実際こんなことをしている、あるいは、区にこういうことをやってほしい、そのようなことについて、ご意見を頂戴したい。

区民H 墨田に越してきて43年になる。新日本フィルハーモニー交響楽団がすごいという話をしたい。10月3日に第19回東京国際音楽コンクール〈指揮〉の本選があり、その演奏を担当したのが新日本フィルだった。新日本フィルがすばらしい演奏で4人の本選出場者を支えていた。また、9月からはすみだクラシックへの扉というタイトルで定期演奏会をやっているが、区民割引の料金はS席が3,000円で、A席が1,500円。1,500円というのは、日本中の、一流のオーケストラのコンサートの入場料金としては一番安い料金だと思う。しかもすばらしい演奏が聴ける。区民割引が他にあるのは、江東区の区民200円引きはあるが、それ以外の区にはどこにもない。また、新日本フィルをフランチャイズにしたこと、墨田区ぐらいの、中ぐらいの規模の区で、クラシック専用のホールを建てたこともすごいことだと思う。これ以降も、文化芸術の支援をぜひ続けていただきたい。

区民I SDGsは、人類の永遠の、理想的な課題だと思う。それを2030年までに実現するのはかなり難しいと思うが、それでもどんどんやっていかないといけない。墨田区はSDGsのモデル地区なので、小学校でSDGsについてどう思う？と聞くと、自分には関係ないよ、何それ？何したらいいの？という意見が出る。ごみの袋がもらえなくなったというマイナスのイメージしか持たれていない。それに対して反論はするが、まずSDGsと言えない子が多い。ものすごく深い意味があって、SDGsと言うことを伝えた方がいい。そこで、歌にした方がわかりやすく、みなさんにSDGsと言ってももらえるのではないかと思い、歌をつくった。歌の内容を説明すると、私は子どもの頃に、蜘蛛と遊んでいた。蜘蛛が巣を作るのがすごく好きだったので、どうやって作るのかを見ていたところ、1時間かけてやっと作り、作った後、古くなると食べていた。これはすごくSDGsだと思い、この話を子ども達にしたら、納得してくれた。そこで、「クモに学ぼうSDGsいきるちえ」という詩をつくった。曲を作ってもらい、小学校6年生の3人の女の子が歌っ

てくれたので、それをYouTubeに上げようと思っている。3月には、NPOフェスティバルを隅田公園でやるため、その際に大々的に披露する予定だが、ぜひ区長に、この歌の内容を理解していただき、もし賛同してもらえるのであれば応援してもらいたい。

区民J 墨田区に引っ越してきて8年目になる。ITベンチャー企業で働いており、趣味でスマホのアプリなどを作っている。先日、茨城県のアプリコンテストに応募したら賞をもらった。

先ほどからいろいろな話を聞いているが、やはり世代間でのコミュニケーションのあり方やつながり方、踏み込み方の不一致があるのかなと思う。課題で多いのは、どちらかというと忙しい私たち働き世代が、そもそもコミュニティをつくれていないところが結構大きいと思っている。そのため、墨田区らしいつながり方ということで提案したいのは、伝統的なイメージがちょっと強いと思うが、どちらかというと、この墨田区で生まれつつある新しいすみだというものを、もっと取り上げてほしい。例えば、墨田区でアプリコンテストをやるとしたら、若い世代が目立つ場所が増えると思う。そういう場所をいっぱい増やしていくことによって、どんどん若い世代が集まって、コミュニティが生まれていくのかなと思うので、区にはそういった取組みを多くしてもらいたい。

区長 最初の新日本フィルに関連して、文化・芸術・音楽こうしたものを、墨田区としてしっかり区民に発信して、趣味や、興味のあるもの、いろいろな形で心豊かな生活を送ってもらえるようにする。特にこの新日本フィルは墨田区にとっても大変大きな宝であるので、ご指摘をいただいた部分をしっかりPRして、つなげていく。そしてそこが繋がったことによって生まれる新たな動きにも、期待ができるのではないかなと思う。子どもたちの教育も含めて、ぜひ対応していきたい。

それから、SDGsのわかりにくさについて、国や報道でもSDGsを取り立てているが、一体、区民の方、国民の方がどのくらいこれを理解し、その17のゴールにどう取り組んでいくかという具体性が、または、伝わり方が非常に薄いのではないかなと思う。その「クモに学ぼうSDGs」というわかりやすいお知らせによって、区民に共有できる。そしておっしゃる通り、SDGsはみんなで取り組んでいくことが大事なので、そこはしっかり伝えていかなければいけない。

最後、若い世代のコミュニティ作りや、縦の、世代間のコミュニティ作りというような時に、新しい工夫をしてつなげていくことを、区としても努力していったらどうかという大変いいご提案をいただきました。どういうものがあるのか、もう1回皆さんからいろいろとお話を伺いたい。コンテストみたいなものはどうかというお話もあったが、そういう工夫が大事で、その工夫によって、興味を持たれた方がつながっていく。そして新しいコミュニティができていく。こういうことをしっかりやっていかなければいけないと思う。

区民K もうすぐ二十歳になるので、墨田区在住は20年ぐらい。世代間のつながりはあまりないように感じていると皆さん話していて、実際に私がこのタウンミーティングを知った

のも、祖母から話を聞いたから。そのような情報は、若い世代にはあまり回ってきていないと感じる。自分から調べたら出てくるが、私も友達も、InstagramやTwitterで情報を仕入れることがほとんどなので、そのようなところともつながりができてきたら、もっとすみだのつながりが、世代間を超えたものになるのかなと思った。

また、私は大学で観光まちづくりを学んでいるが、外部の人と地元の人とのつながりをつくっていくのがやはり難しく、実際に今日参加するのもちよっと緊張しているが、すでにあるコミュニティに入っていくこと、一歩踏み出す勇気を出すことはなかなか難しい。そのため、外部の人とすでにあるコミュニティが簡単につながっていけるような取組みやイベントがあれば、もっと広く、いろいろな方とつながれるのかなと思う。

区民L 外国人の暮らしやすい環境をつくっていけたらということで、すみだ多文化共生交流会を発足した。今、文花、立花地域で、まちづくりや見守りを目的とした、One SUMIDA Projectという任意団体の立ち上げに参加している。この団体は、社会福祉や高齢者、児童、大学、NPO等が参加しており、また団地の自治会、URさんなども協力して活動を行っている。今までは直接関わりのない団体同士ではあるが、それぞれの団体が小さな力を重ね合わせるだけで、相当大きな力が生まれていくと実感している。そして、情報弱者と言われる高齢者や外国人の方々が気軽に相談できる場所がほしいと思っているので、今後まちかどコンシェルジュのようなものをどうつくっていくかを考えたい。また、先ほど、団体とまちづくりに関し、どう関わっていったらいいかという意見が多かったと思うが、そういうパイプをどのようにつくっていくかも、今後の課題にしたい。

区民M すみだ歴は62年になる。今、すみだの中で、スカイツリーは観光地になってきているが、すべてソラマチタウンで閉じてしまっている。観光客も、最近はミズマチができたので、浅草とスカイツリーをつなぐところは活性化してきているが、スカイツリーの東側、四つ目通りのところは商店街が活性化してなくて、今どンドン土地を手放している人がいる。不動産屋さんと、マンションがどンドンできてきているという状況にある。何とかスカイツリーをもっと有効活用して、街の活性化をしていくことがこちらの課題でもある。そして、区や自治体が主導で、こういうまちづくりをしようじゃないかとか、そこに助成金、補助金等を出してもらって、例えば商店を江戸時代風の建物にするとか、そういうこともやっていくといいのかなと思う。

区長 最初の学生さんで、ちょうど観光まちづくりも勉強されているということで、各世代の皆さんにご参加をいただいたことはありがたいし、こういう思いをぜひ、今後も持ち続けてほしいと思うが、一つは、情報発信。今回、企画運営委員会の皆さんや私も、動画での告知をやってみたが、なかなか届かないところもある。そのため、さらなる工夫をして、Instagram、Twitter、その中で参加を募る、こんなことをやっているというPRをもっとしていけないといけない、ということが一つ。

次に、外部の皆さんと歴史ある町との融合。敷居が高いということがなく、うまく馴染めるように。我々にとっては許容というか、受入れる側の幅を持ちつつ、外部の人にも、

しっかりすみだのフィールドで大活躍してもらおう。すみだの歴史も踏まえた上で、この新しい社会の中で活躍してもらえる場をつくっていくことがご提案だと思うし、まさにその通りだなと思う。ここは課題でもある。

それから、一つのモデルとして多文化共生の試みが広がっていくと、次の時代に続く、また新しい、すみだらしい取り組みにもなるので、ぜひお力添えをいただきたい。また、いろいろな仲間作りをして多文化共生を目指すわけだが、私も参考にしたいし、ぜひ見に行きたいと感じた。

最後に、スカイツリー。先ほど、墨田区の象徴であって、ここ10年で変わったものの一つというお話もあったが、10年経って、スカイツリーを中心に街がつくられ、つながりが生まれるという点では、もっと有効に活用してまちづくりに生かしたり、スカイツリーだけに完結せず、地域にいろいろなことを還元させていくことが大事。そこが広がると、ミズマチの例も然り、新たな街としてつながりが生まれていくと思う。ご意見をいただいた内容を、ぜひ今後のまちづくりに生かしていきたい。

区民N 子どものための活動をやっている。我々の組織のミッションの一つは、子どもにいろいろな体験ができる場を提供していくことだが、墨田区の子ども会は、23区の中で一番活発に活動していると思う。私自身、東京都の子ども会の事業と一緒にやったり、各区の社会教育の関係者の方とお話をする機会がある。その中で、定量的なデータはないが、墨田区の子ども会がすごく活発に活動をしていると感じている。そのようなところで育った子どもたちが、大人になったときに地域活動に参加していく上では、子ども会の活動はすごく大切だと思う。しかし、今、コロナの状況で、もう1年8ヶ月、ほとんど子ども会の活動がない状況にある。この後コロナが収まれば徐々に復活していくのかなとは思いますが、子ども会が復活していく中で、子ども会が前と同じ、それ以上の活動ができるように、行政からも支援をいただきたい。

区民O すみだ歴は11年目。皆様のお話を聞いていて、身近でできる工夫が一つ浮かんだので、お話させていただく。町会自治会も大切、若者に向けてSNSで発信することも大切。発信には、TwitterやYouTube等、いろいろな形があると思うが、発信も、情報も、イベントも、もう墨田区には幅広くあって、それを受け取れずにいる人がいると思ったので、一つのものに特化したものを発信し続けるのはどうか。例えば、町会自治会は170ほどあるという話だったが、それを一つにまとめて発信し続ける。そうすると、町会自治会を必要としている人たちに届きやすい。そして若者。町会までは手が届かない、でもコミュニティを必要としている人たちは必ずいる。そういう人たちは華があるものが大事だと思うので、イベントや、新しいもの、墨田区にはおしゃれなカフェなどもあるので、それを発信し続ける。イベントに特化して発信し続ける、カフェに特化して発信し続ける。さらに、子どものいるママさんに必要な情報のみを発信し続ける。墨田区のいいところを発信し続けるのではなくて、わかりやすく一つひとつ、テーマ、コンセプトを作って発信し続けると、つながりたい人、届けたい人に伝わりやすいのではないかと思う。

区民P 仕事は子どもの支援団体と教員をしているが、今回初めてこのような場に参加した。自分に関係があることに関して、参加できる場があることがすごいと思う。先ほどからSDGsという言葉が出てきているが、SDGsの、誰もが住み続けられるまちをつくるというところで、自分がそのまちづくりに参加できることが、非常に重要だと考えられている。しかし、このタウンミーティングも、勇気を持ってくる場所になってしまっている節があるので、気軽に意見が出せる場所があるといいと思う。箱があって紙を入れるのも、オンラインでもいいと思うが、そういう場所がもう少しわかりやすかったらいい。つながりやすさやつながり方は人によって違うと思うので、そういう気軽な場所があると、自分たちがまちをつくる構成員であることを気負わず参加できるのかなと思った。

誰もがというところで二点。一つ目は、子どもの貧困について。すごく社会的に大きな課題で、もちろん墨田区としても取り組んでいるところであると思うが、さらにみんなで考える時があるといいと思う。もう一つは、多様性に関して言うと、同性パートナーシップに関して。墨田区にも声は上がっているかと思うが、やはり、誰もがというところと、多様性を大切にす墨田区だからこそ、ぜひ検討いただけたらと思う。

区民Q 私は自分が所属しているひきこもりの会の運営にあたってチラシを作っており、置かせてもらえるかどうか、持って回っている。ひきこもりにはTwitter等をやっている人もやっていない人もいて、なかなか情報を得られにくいところがある。例えば区役所1階の情報コーナーにはたくさんチラシが置いてあるが、私もそういうものを見て情報を知る。しかし、公共機関、図書館やコミュニティセンター等、チラシを無条件で置いてくれるところがとても少ない。活動内容に賛同してくださる方は多いが、参加費を取ると言うと、チラシを置かせてもらえないことが多い。なぜお金を取るかという、目についた人達がふらっと入ってくるのではなく、この会を必要としてくれる人を集めたいので、お金を払ってでも参加したいという人に来てほしいから。そんな気持ちを持って回っているが、いろいろな理由でチラシ置かせてくれないことが多いので、ぜひ検討いただき、置けるようにしてほしい。

区長 最後も、それぞれの立場の中で、いろいろなご提言だったと思う。特に子ども会の活動、これは墨田区にとって非常に大事で、今日のつながる力の中でも、子どもを中心にしてつながり、それが保護者の皆さんや関係団体の皆さんとつながることになる。さらにそのように、みんなで子どもを育てていくということ自体、墨田区にとっても大変重要なテーマ、活動だと思うので、ぜひ、改めていろいろなご意見を伺いながら対応していきたい。

次に、情報発信の部分で、身近でできる工夫のご提案をいただいた。前回の知る力の中でもいろいろとご意見が出たが、とても参考になるご提案だった。特化された情報を、届く対象をしっかりと特定して、そこに発信し続ける。これはその通りだなと思う。たくさん発信してしまい、全部がまばらになって動いていると、どの情報を取っていいのかわから

なかったり、何のことだかわからなかったりする。相手にピンポイントで届くことが、効率的にも、そして届きやすいという部分も含めて大変重要だと思うので、工夫していく。

それから、先ほどSDGsに触れながら、誰もが住み続けられるまちをみんなで作っていくという中で、参画している意識や、自分もそこに携わって、そして自分の意見や思いがちゃんと届くことが大変大事だと思う。貧困の件、それから多様性の件、これもまたいろいろとご議論いただきながら、区と区民が一緒になって前へ進めていくということだと思う。

最後、チラシの件で、これはもう一度しっかりお伝えしなくてはいけないが、SNS上でも、それぞれの団体の皆さんの活動内容を載せられる、チラシに代わる場所がある。区でもそういうものを用意しているので、まず、SNSの活用をぜひ視野に入れていただければ。チラシについては、すべての団体のチラシを区役所に置くと、区役所がチラシだらけになるような気もするので、どういう基準で置かせていただくかを含めて、ぜひお声をもう一回聞かせていただきたい。

区長総括 いつも思うが、こうしてご意見をいただいて、本当にあっという間に時間が過ぎる。それぞれの皆さんが感じられていること、伝えたいことが、ストレートに私に入ってきた。このタウンミーティングは、私が区長になってからずっと続けているが、当然これはやるべきで、やはりこういう声を聞くことが大事だと改めて感じた。皆さんに今日は、いろいろなご意見をいただけてよかった、ありがとうございますという感謝の気持ちである。これからも引き続きいろいろなテーマがあると思うが、こういう機会はぜひ増やしていきながら、直接お話をさせていただきたい。

それから、ポストコロナ、ここから先の墨田区の将来像、とても大事になってくるので、ぜひご参画をいただきたい。これは区役所だけでなく、区議会だけでなく、いろいろな皆さんと、このまちづくりを、そして人づくりを進めていくということになるので、ぜひ今後ともよろしくお願ひしたい。本当に皆さんどうもありがとうございました。

以上